

平成 29 年度第 2 回岡崎市男女共同参画推進審議会会議録

日 時 平成 29 年 10 月 11 日(水) 午前 10 時
場 所 岡崎市役所 東庁舎 7 階 東 701 号室
出席委員 笹瀬佐代子委員・水落正明委員・長谷川初彦委員・佐野章子委員・伊藤智代委員
山本京子委員・鬼武孝江委員・石川きぬ枝委員・田部優加子委員・田中俊二委員
古澤亜希子委員
欠席委員 重原惇子委員・杉浦博志委員・飛鷹正範委員・稲熊茂男委員
事務局 安藤部長・大久保次長・松澤係長・谷川主事
傍聴者 なし

次 第

- 1 開会のことば
- 2 委嘱状交付
- 3 部長あいさつ
- 4 会長あいさつ
- 5 議題
 - (1) 平成 30 年度事業概要（案）について
 - (2) その他
- 6 閉会のことば

議 事

○ 議題(1) 平成 30 年度事業概要（案）について

事務局 資料 1、2 により説明

(質疑応答)

委 員 男性のよりそい講座、よりそいというのは板挟みとなる 40 代、介護している年代、どこが対象になるか。

事務局 男性の中でも既に働きながら家事参画をしている人もおり、女性だけでなく、これ以上やるのは辛い立場の男性もいる。そういった男性の悩みの解消を図るために実施する。男性を対象とした講座の集客は難しいかもしれないのでその都度検討しながらやっていきたい。

会 長 現在、子育て世代で男性の帰宅拒否症がある。家庭でも時間に追われている男性もいる。男性も家庭も仕事を上手くこなすための講座と認識している。

委 員 来る人は理解があり、来ない人は全く関心がなく問題である。来ない人に対しての掘起し等のアイデアは考えているか。

事務局 地域に対しての活動の掘起しとして、女性団体のリーダー育成を目的としたモデル地区から、地域での男女共同参画の活動に視点を変えていく事業

に次年度から検討している。地域での活動に行政が入り込むのは難しいため、昨年度より、地域でのPTA活動を通じて出来た男性主体の活動団体である「おやじの会」の活動の紹介、講座等で連携することで、地域からの男女共同参画の掘起しを考えている。今年度より地域における男女共同参画の推進に対しても補助金の対象としている。

委員 ほとんど関心がない企業に強制的に来させるのも一つの手段。夕方とかにやると企業も人の配置を上手く変えなければならないので、ある意味これもワーク・ライフ・バランスの話である。人がいなくなった時に人をどうするのか考える機会になる。たぶん岡崎市役所は嫌がられるが、介入してやらないとなかなか上手くいかないの、無責任な発言だが、少しだけ考えてみてもいい気がする。

委員 ターゲットの年代、今後の見通しがあれば聞かせて欲しい。
事務局 仕事と家庭の両立をする世代をターゲットにしている。若い世代はユースリーダーで少しずつ推進している。働いている年代が弱いため、先ずはそこをターゲットにしている。

委員 これまでの講座の参加率、募集状況など実態を教えて欲しい。
事務局 L G B Tの講座は、今年度から開始し、まだ1回は未開催な状況のため確定の数値は出ない。料理教室は定員を超える、育児参画講座はほぼ定員通り、働く女性講座はほぼ定員通り、ユースリーダー講座は定員を上回る参加。託児ステップアップ講座は、託児のボランティアを対象とした事業になる。ママの仕事チャレンジは商工労政課が所管で定員を少し割れている、子育て講座は定員を上回る、協同事業はすべて定員を上回る。全般的に料理教室の人气があり、定員を上回っている。以前は定員を大きく下回る講座はあったが、講座の内容の見直しを行い、現在はほぼ定員通りとなるように努力している。

委員 アンケートが反映されているのか。
事務局 アンケートは毎回っており、見直しの参考にさせていただいている。

会長 今年度からユースリーダー育成講座を始めたが、近隣の自治体では行っていないと伺ったが、どうなのか。

事務局 近隣では行っていないが、県外では先進的に行っているところもある。ユースリーダー育成講座だが関心を持つ子は増え、受講者には修了証を発行した。これからこの子たちの活動の場をどうしていくのかが課題である。今年度は、仕事と介護の両立のイベントの時に、ボランティアとして出席していただき、セミナーを仕切るなど力を発揮していただく予定である。また、若い世代に係りのある内容で研修をしたため、中学校、高校等からデートDVなどの出前講座の要請があった際、DVを所管することも部と連携をして、その子たちも一緒に行き若い世代の言葉で伝えてもらうことも考えている。男女共同参画は小学校、中学校など早い時期から意識を植

えつけていくことが重要であると言われている。今後はそういったところの活動にも推進を図っていきたいので協力をお願いしたい。

会 長 男性のよりそい講座の後に、男性の活躍の場を設ける必要があるかもしれないが、そのあたりはどうか。

事務局 男性のよりそい講座は、悩みを言葉として発することを目的としているため、地域に広げていくリーダーの育成までは今のところ考えていない。講座を受講して自発的にそういった方が出てくることは期待しているが、行政がそこまでのフォローをすることは現状考えていない。

委 員 ユースリーダー講座をすいか隊として参加した。ユースリーダー講座に参加した女性がLGBT講座で顔を合わせた。自分の知らないことを学べてうれしい、またいい講座があれば教えて欲しいと言っていた。私は彼女を長い目で支援していきたい。受け皿とか直ぐに求めず、成長をゆっくり見守るのも一つだと思う。

会 長 働き方改革セミナーだが、どのような申込みをしていくのか。

事務局 従来通り、市政だより、HP等で応募を募っていく。状況を見て、商工会議所等の発信のツールの協力をお願いしたい。また、本市の他部署から関係事業所へ発信など、本市全体で連携し進めていきたい。

委 員 セミナーはどういった形式で行うのか。

事務局 まだ検討中である。

委 員 講話形式ではなくワークショップ形式の方がいいと思う。講話形式だとやらされ感となってしまう。参加型のセミナーができる人を呼ばなければならぬが、その方がいいと思う。

○ 議題(2) その他について

事務局 資料3により説明

(質疑応答)

なし

午前 11 時 20 分終了